

# 平成26年度(平成27年産)麦類作況試験生育状況(古川農試)[4月10日調査結果]

## 1. 供試品種および耕種概要

### ・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・播種期：10月20日
- ・播種量：0.9kg/a（ドリル播き，条間25cm）
- ・施肥：尿素燐加安777号  
(N：0.8kg/a, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：0.8kg/a, K<sub>2</sub>O：0.8kg/a)

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6kg/a
- ・排水対策：明渠，暗渠及び弾丸暗渠2.0m間隔
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目（前作水稻）

## 2. 気象概況[3月下旬～4月上旬](表1, 図1)

- ・平均気温は，3月下旬～4月第1半旬は高温傾向で経過し，特に3月第6半旬は平年差+3.8℃の高温となった。4月第2半旬は平年差-1.6℃の低温となった。
- ・降水量は，4月第1半旬に平年比289%の降雨があったものの，それ以外の期間は平年より少雨となった。
- ・日照時間は，3月下旬は多照となり，4月上旬は寡照となった。

表1 気象経過(3/21～4/10)[大崎市古川]

	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
3月第5半旬	4.7	0.2	2.5	21%	38.6	137%
3月第6半旬	9.2	3.8	1.0	8%	54.6	156%
4月第1半旬	8.4	1.7	33.5	289%	23.6	76%
4月第2半旬	6.4	-1.6	8.0	59%	18.9	62%

注) 平年差(比)はアメダス平年値との比較

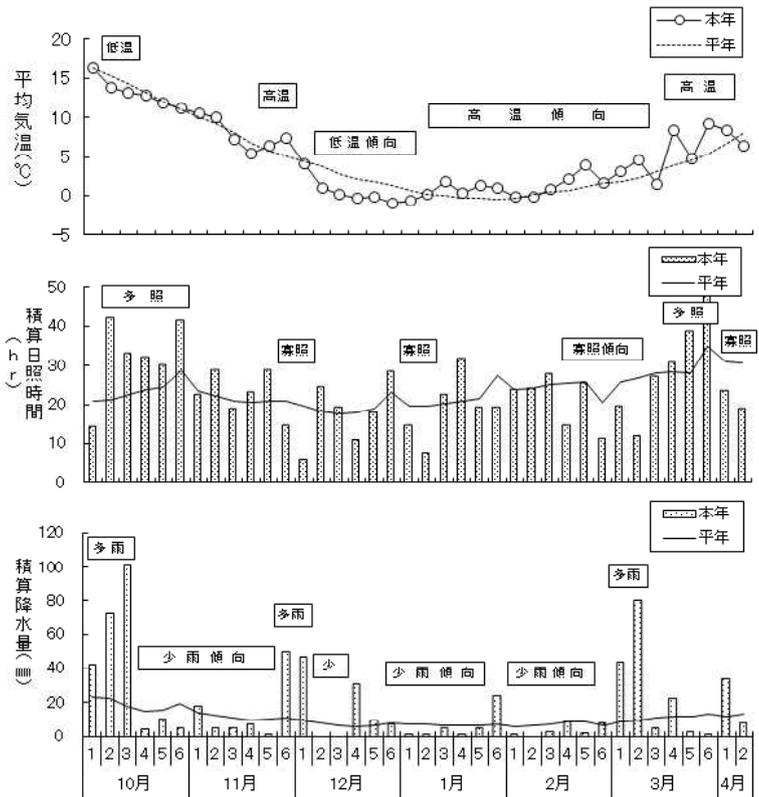


図1 半旬別気象経過(大崎市古川)

## 3. 生育概況

### 1) 4月10日現在の生育状況(表2)

- ・草丈は大麥，小麦とも平年を大きく上回っており，平年比150～200%程度となっている。
- ・茎数は，生育ステージが平年より早く，最高分げつ期を過ぎているため，4月10日時点では平年より少なくなっている。
- ・葉数は大麥，小麦とも平年に比べて1枚程度多く，シュンライでは平年差+1.9枚となっている。
- ・幼穂長は大麥，小麦とも平年より長く，生育ステージは進んでいる。特に早生のシュンライとあおばの恋の生育が平年に比べて早くなっている。

### 2) 減数分裂期，出穂期の見込み(表2)

- ・4月11日～5月10日の天候予測（東北地方1か月予報，仙台管区気象台発表）では，向こう1か月の平均気温は平年並または高い確率が高くなっている。
- ・減数分裂期は，平年と比べて大麥では7～10日程度，小麦では5～8日程度早まる見込みである。
- ・出穂期は，平年と比べて大麥では6～9日程度，小麦では6日程度早まる見込みである。

表2 麦類生育状況(4月10日現在)

品種	草丈			茎数			葉数			幼穂長		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)
シュンライ	34.3	214	195	755	85	71	10.1	2.8	1.9	14.4	11.0	9.3
ミノムギ	28.6	169	158	832	90	77	9.5	2.2	1.0	7.1	4.5	2.8
あおばの恋	38.1	221	202	828	137	95	8.3	1.5	0.9	9.4	7.2	6.0
シラネコムギ	33.0	194	187	843	93	83	9.3	1.7	0.9	4.5	2.7	2.2
ゆきちから	27.3	176	165	1092	141	95	9.3	2.1	1.1	4.3	2.5	2.1

品種	幼穂分化 程度	幼穂形成始期 (月/日)		主稈長 (mm)	茎立期 (月/日)		減数分裂期 (月/日)			出穂期 (月/日)	
		本年	平年		本年	平年	予測値	前年値	平年値	予測値	平年値
シュンライ	X以降	2/16	2/10	101.1	3/30	4/7	4/17	4/26	4/27	4/25	5/4
ミノムギ	IX後～X以降	2/23	2/20	62.7	4/2	4/9	4/22	4/27	4/29	5/1	5/7
あおばの恋	X以降	2/17	3/3	102.6	3/20	4/5	4/22	5/1	4/30	5/4	5/10
シラネコムギ	IX後～X	3/10	3/20	63.9	4/1	4/16	4/28	5/1	5/3	5/7	5/13
ゆきちから	IX中～後	3/16	3/23	39.0	4/5	4/19	4/28	5/2	5/3	5/8	5/14

注1) 平年比(差)は過去5か年(「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値との比較。

3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。 4) 茎立期: 主稈長2cmに達した日。 5) 減数分裂期: 幼穂長3cmに達した日。

6) 出穂期予測: 主茎幼穂長から予測した出穂期(普及に移す技術第84・85・88号)。

7) 減数分裂期予測: 主茎幼穂長から予測した減数分裂期(普及に移す技術第86号(あおばの恋は暫定値を使用))。

※出穂期, 減数分裂期予測には古川アメダス平均気温の平年値を用いた。古川アメダス平年値は1981～2010年の平均値。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期		小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X		
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5～0.6	0.6～1.0	1.0～1.2	1.2～4.0	4.0～5.0		
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5～0.7	0.7～1.5	1.5～2.0	2.0～4.0	4.0～5.0		

注) 幼穂分化程度はI～Xの10期に区分されるが, V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。  
また, 厳密にはVII期は前・後期に, IX期は前・中・後期に区分されるが省略。

## 平成26年度(平成27年産)麦類生育調査ほ生育状況[4月10日調査結果]

表3 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	播種様式	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	15	暗渠	11/1	1.0	ドリル播き	29.6
	ミノムギ	大河原町	15	暗渠	11/1	1.0	ドリル播き	30.5
仙台	シュンライ	大和町	13	明渠、暗渠、弾丸暗渠	11/8	確認中	ドリル播き	27.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	1	明渠、暗渠	10/20	1.0	ドリル播き	12.5
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	1	明渠、弾丸暗渠	10/29	1.3～1.4	ドリル播き	23.8
	ゆきちから	涌谷町	1	明渠、弾丸暗渠	11/9	確認中	ドリル播き	19.8
登米	あおばの恋	登米市豊里町	10	暗渠	11/11	1.4	ドリル播き	20.3
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/19	1.0	ドリル播き	30.0
	ミノムギ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/20	1.0	ドリル播き	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	10年以上	なし	10/19	0.8	ドリル播き	22.5

表4 生育状況(4月10日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種期(月/日)	出芽良否	草丈			茎数			幼穂長		
					本年(cm)	前年比(%)	平年比(%)	本年(本/m <sup>2</sup> )	前年比(%)	平年比(%)	本年(mm)	前年差(mm)	平年差(mm)
大河原	シュンライ	大河原町	11/1	良	24.9	132	116	552	86	87	7.9	1.3	0.1
	ミノリムギ	大河原町	11/1	良	17.5	114	89	366	92	60	5.1	0.1	-0.4
仙台	シュンライ	大和町	11/8	良	21.1	92	-	332	79	-	4.7	-7.8	-
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/20	良	18.6	151	100	1208	422	147	3.2	2.1	0.9
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/29	良	23.2	168	165	1101	71	120	3.0	1.6	1.6
	ゆきちから	涌谷町	11/9	良	18.3	102	128	846	82	111	2.2	0.5	0.6
登米	あおばの恋	登米市豊里町	11/11	良	26.1	196	174	1015	402	175	3.2	1.7	1.3
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/19	良	32.3	181	188	540	108	76	8.8	5.9	4.5
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/20	良	27.6	150	177	503	93	70	10.4	8.1	8.1
	シラネコムギ	石巻市小船越	10/19	良	23.3	114	115	1027	77	77	3.2	1.0	0.6

注1) 出芽良否は達観で判断(良, 中, 不良の3段階を基本とする)。

2) 平年比は過去5か年の平均値との比較。

3) 仙台「シュンライ」は平成25年度から調査地点が変更となったため、平年値はない。

## 1. 担当普及センターのコメント

### 1) 大河原

- ・シュンライ, ミノリムギともに生育ステージは平年並。
- ・茎数確保量は, いずれも平年を下回っている。特にミノリムギは平年対比60%と少なく, 減数分裂期追肥の確実な実施が必要とみられる。
- ・広葉雑草の芽生えが散見される。
- ・病害虫の発生は確認されない。

### 2) 仙台

- ・播種時期の遅れや雪害, 湿害の影響により目標茎数は確保できておらず, 1株当たり茎数は3~4本程度である。
- ・4月1日に茎立期を向かえている。
- ・減数分裂期は4月27日, 出穂期は5月5日と予測される。

### 3) 大崎

- ・茎数は3月20日調査より1.6倍に増え, 平年比140%程度, 草丈は平年並みであり, 生育は良好である。
- ・幼穂長は3.2mmであり, 幼穂形成期後半になっている。主穂長も1.5cm程度となりまもなく茎立期に達する。
- ・生育ステージは平年より早くなっている。

### 4) 美里

- ・平年に比べて幼穂長が長く, 生育が早い。
- ・シラネコムギ, ゆきちからの両ほ場で広葉雑草の発生がみられる。

### 5) 登米

- ・3月の高温の影響で生育が例年より早く進んでいる。
- ・茎立期(主茎長2cm)には達していない。
- ・病虫害, 雑草の発生は見られない。

### 6) 石巻

- ・2月下旬以降の高温により, 大麦, 小麦とも幼穂長は平年より長く, 生育ステージが早まっている。
- ・大麦, 小麦とも草丈は平年より長い, 茎数は前回調査と同様に平年の7~8割程度と少ない。

